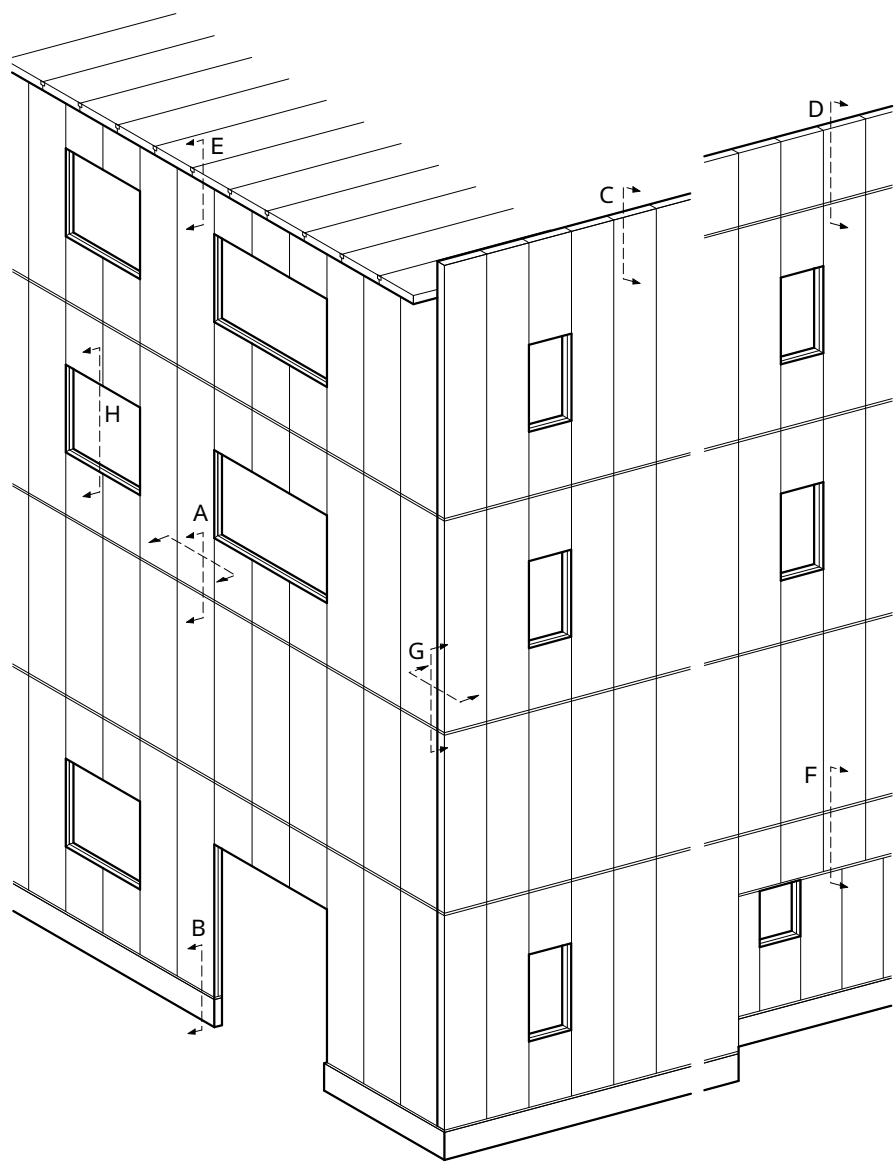


# 縦壁H D R構法（中低層用）

縦壁H D R構法（中低層用）キープラン



取付け金具はヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください

縦壁H D R構法（中低層用）特記および注（詳しくはヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください）

特1：標準構法図中の色文字は別途工事を示す

特2：本構法は、パネル厚100mmの平パネル、パネル厚100mm、125mmの意匠パネルに適用する

特3：本構法は、正の風圧力2,300N/m<sup>2</sup>以下、負の風圧力1,600N/m<sup>2</sup>以下、かつ、高さ31m以下の建物に適用する

注1：耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする

注2：P U B金具：開口部周辺のパネルをP U B金具で取付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m<sup>2</sup>以下の場合に使用できる  
ただし、はね出して使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する

注3：絶縁材：床取り合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける

注4：ベースクリップ：1階の基礎部には、アンカー筋と受アングルの接続のためにベースクリップを使用することができる  
ベースクリップを使用する場合のRスペーサーは、角タイプを使用する

注5：Rスペーサーは、厚さ100mm（意匠パネル100mm、125mmを含む）の場合に限り、丸タイプを使用することができる。ベースクリップを使用する場合は、角タイプを使用する